

Title	Our world today and yesterday, by J. H. Robinson and E. P. Smith, with collaboration J. H. Breasted, 1925. 12 mo., Pp.625+XII with 26 maps
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1925
Jtitle	史学 Vol.4, No.2 (1925. 5) ,p.151(311)- 151(311)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	書評
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19250500-0152

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

支那現代名鑑(外務省情報部編 東亞同文會發行)

本書は大正五年、外務省編纂の現代支那人名鑑を新資料によつて補訂したもので、記載の人物は主として政界に關係あるものか
はた關係のあつたものを収録して居る。人名はイロハ順に排列せ
られ、各々振假名を附し、Mr. Tomas Francis Wadeの北京聲音記
法によつて支那音を記し、又外國人間に土音を以て呼稱せらるゝ
人物に對しては其の土音をも併記してある。各人物に就いては其
の字、年齢、出身地、現住地、學歷、經歷等に亘て詳記せられ、
主要人物は其の寫眞を挿入してある。猶卷首に姓氏表、人名「イ
ロハ」順索引、人名「ABC」順索引を掲げ、卷末に國會議員人
名錄、日本支那西洋年歴表が附せられてある。

(一四、四、十 武田勝藏)

Our World Today and Yesterday

(By) J. H. Robinson and E. P. Smith, with collaboration & J.

H. Breasted, 1925. 12 mo. Pp. 625+XIIIX with 26 maps)

世界大戰以來、世界の現狀に對する興味と之を知らんとするの
欲求は、一層加はつて來た。この欲求は必然に吾人を驅つて、過
去の事蹟の研究に赴かざるを得ない。是迄吾人人類が踏み來つた過去幾
世紀間の歴史を知らないでは之を明にし得ないからである。過去
の現在は今日の過去であり、今日の現在は明日の過去である。斯
くして今日は忽ち昨日となり、今日は先月となり、今年は昨年と
なり、更に現世紀は前世紀へも移り行く。この時間經過の上に示

書 評

されたる歴史の行程は、たゞその瞬時に於てのみ一回限りの現象
を認識され得るも、總體より之を見るときは、相關聯せる一體を
なせるものなるが故に、之を全體として把握しないでは、その眞
相を知ることは不可能だからである。それ故に、現在を知らんか
ためには、必然に過去の知識を欲求する。この欲求に應じて過去
の知識を供給すべき入門書として生れたのが、表題の本書である。
本書は、*our General history of Europe*と稱せられたるもの
、改造であつて、新たに『近代文明史』の小題が附加されてある
本書の前身をなせるロビンソン氏を中心とする諸著は、米國史學
界に於て、良教科書として、既に定評のあるもので、余も亦『史
學』第二卷第一號に於て紹介したのであつた。(因に同處一五七頁
上段末尾三字、同下段起首三字削除、同頁下段二行目國民とある
は、ロ氏一五八頁上段四行目右は左、同十三行目マツトランスは、ア
ウトラインズの誤植である)今、之を前者に比すれば本文は總頁
數六六八頁より六百二五頁に減じ一層簡約せられ前者に於ては上
代に一八〇頁を宛てたるに、こゝには八七頁に減じ、その反對に一
九一四年以後の記述は六八頁より一二二頁に増してある。こゝは一
つには兩著の間に於ける史實の増加したるにもよるのであるが、
要するに古代を簡にして近代に詳ならんことを米國式實用的傾向
を示すものであつて、本質的にはロビンソン氏の一九〇二年に出
せる最初の *Introduction to the history of Europe* に復歸せるか
の如き觀がある。尙ほ記事中に挿入されたる地圖を一緒にして卷
末に移し之に説明と練習問題を附加し、前者に見ざりし系圖十二
頁を加へたるは改造せられたる主要なる點であつて、前者に比し
一段の進歩を加へたものである。

(岡崎万里)